

《担当者名》○塚本 容子 [yokot88@hoku-iryo-u.ac.jp]  
石角 鈴華 [ishizumi-re@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

プライマリ・ケアにおける患者中心の医療提供のため、安心・安全な実践のための基盤となる知識・技術を習得する。健康日本21とそれに関連した法律及び政策を押さえつつ、糖尿病及び精神・神経疾患について、その診断から治療について学修する。実践的な知識を獲得するため、事例に基づいた演習を行う。

【学修目標】

1. 健康日本21における糖尿病及び精神疾患の社会的課題を理解し、政策的目標について説明できる。
2. 糖尿病診断から治療について、一連の流れを理解する。
3. 糖尿病患者における合併症予防の重要性を理解し、具体的な介入方法について説明できる。
4. 糖尿病患者のセルフマネジメントを支援するためのストラテジーについて説明できる。
5. 精神・神経疾患の診断から治療までの一連の流れを理解する。
6. 精神・神経疾患を持つ患者のヘルスアセスメントについて説明できる。
7. 精神・神経疾患を持つ患者のマネジメントについて説明できる。

【学修内容】

| 回      | テーマ                        | 授業内容および学修課題                                                                                                                       | 担当者                    |
|--------|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 1      | 健康日本21と政策                  | 【対面講義】<br>・健康日本21とそれに関連した政策<br>・健康日本21の目標に関連したナース・プラクティシヨナーの役割<br>・看護からの政策提言                                                      | 塚本<br>石角               |
| 2<br>3 | 糖尿病マネジメント概論                | 【Web-Learning】<br>以下の内容の動画を視聴し、与えられた課題を行う。<br>・糖尿病の病態生理<br>・病態生理から考える薬物療法<br>・糖尿病患者のアセスメント<br>・糖尿病と合併症<br>動画視聴：120分 課題レポート：60分    | 塚本<br>石角               |
| 4      | プライマリ・ケアにおける糖尿病マネジメント      | 【対面講義】<br>糖尿病の診断から、マネジメント、そして合併症予防について、事例を基にPBLで学修する。患者のセルフマネジメントを向上するためのストラテジーについても検討する。                                         | 渡辺美和（特別講師）<br>塚本<br>石角 |
| 5<br>6 | プライマリ・ケアにおける糖尿病マネジメント：薬物療法 | 【Web-Learning】<br>以下の内容の動画を視聴し、与えられた課題を行う。<br>・糖尿病の薬物療法の基本<br>・高齢者における薬物療法の注意点<br>・糖尿病治療としての内服療法とインシュリン療法<br>動画視聴：120分 課題レポート：60分 | 塚本<br>石角               |
| 7      | プライマリ・ケアにおける糖尿病マネジメント      | 【対面講義】<br>・事例を基に、糖尿病治療についてPBLにて学修する。薬物療法におけるアドヒアランスの向上、治療に対する評価、治療に関連した倫理的課題について検討する。                                             | 渡辺美和（特別講師）<br>塚本<br>石角 |
| 8      | プライマリ・ケアにおける糖尿病マネジメント      | 【対面講義】<br>・今まで学修したことを統合し、より複雑な事例につ                                                                                                | 塚本<br>石角               |

| 回        | テーマ                       | 授業内容および学修課題                                                                                                                                         | 担当者                    |
|----------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| 10       |                           | いてPBLについて学修する。                                                                                                                                      |                        |
| 11       | 精神・神経疾患を持つ患者のマネジメント概論     | 【Web-Learning】<br>以下の内容の動画を視聴し、与えられた課題を行う。<br>1．精神・神経系の解剖生理<br>2．神経学的主要症候<br>3．精神医学的主要症候<br>4．主要な神経疾患と病態生理<br>5．主要な精神疾患と病態生理<br>動画視聴：60分 課題レポート：30分 | 塚本<br>石角               |
| 12       | 精神・神経疾患を持つ患者のマネジメント各論     | 【対面講義】<br>1．主要な精神・神経疾患を持つ患者のヘルスアセスメント<br>2．鑑別診断のための神経学的検査<br>4．鑑別診断のための心理・精神機能検査<br>5．鑑別診断から治療：精神・神経系の臨床薬理（副作用、耐性と依存性を含む）                           | 鷓飼 渉（特別講師）<br>塚本<br>石角 |
| 13       | プライマリ・ケアにおける痙攣性疾患とマネジメント  | 【対面講義】<br>痙攣性疾患を持つ患者のマネジメントについて<br>・痙攣性疾患のアセスメント<br>・痙攣性疾患の薬物療法<br>・痙攣性疾患の心理社会的支援                                                                   | 鷓飼 渉（特別講師）<br>塚本<br>石角 |
| 14<br>15 | プライマリ・ケアにおける主な精神疾患とマネジメント | 【対面講義】<br>下記について、事例を基に学修する。<br>・不安症、うつ、統合失調症、認知症のアセスメントと治療<br>・せん妄のアセスメントと治療<br>・精神疾患を持つ患者と精神科関連福祉体制                                                | 鷓飼 渉（特別講師）<br>塚本<br>石角 |

#### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

・筆記試験（30%）、レポート（70%）により評価する

#### 【教科書】

その他、適宜提示する

#### 【参考書】

適宜提示するが、下記に一部紹介する。

健康日本21 <https://extranet.who.int/nutrition/gina/en/node/8247>

岩岡英明著（2018）．プライマリ・ケア医のための糖尿病治療入門、日経BP社

宮内倫也著（2016）．プライマリケアのためのこころの診かた、日本医事新報社

#### 【学修の準備】

事前課題については別途指定する。その課題を講義前に行うこと。

#### 【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。